

美馬市 社協だより

人と人との つながり を 大切に つなげる福祉

No.25

2014.10

ふれあいの木

<http://www.tokushima-shakyo.jp/mima/>

美馬市社会福祉協議会

検索



ふれあいネットワーク

 社会福祉法人
美馬市社会福祉協議会

〒779-3610

美馬市脇町大字脇町1303番地3
(脇町庁舎内)

TEL. (0883) 53-7432

FAX. (0883) 53-6475

E-mail : mimashi@tokushima-shakyo.jp

もくじ CONTENTS コンテンツ

- 【2】 平成25年度収支決算報告
- 【3】 会長あいさつ、理事・評議員選任のご報告
- 【4】 百寿 おめでとうございます、
敬老県民のつどい 表彰 おめでとうございます
- 【5】 社協会員会費納入のお願い
- 【6】 赤い羽根共同募金
- 【7】 平成26年度西部ブロック災害救援合同模擬訓練
- 【8】 県内社協災害時の支え合い活動、
自主防災訓練助成金交付事業、善意銀行からのお知らせ
- 【9】 暮らしサポートみま 開所！
- 【10】 おしらせ

平成 25 年度 収 支 決 算 報 告

平成 26 年 5 月に開催されました理事会、評議員会において、平成 25 年度決算報告が承認されました。

収 入

(単位：円)

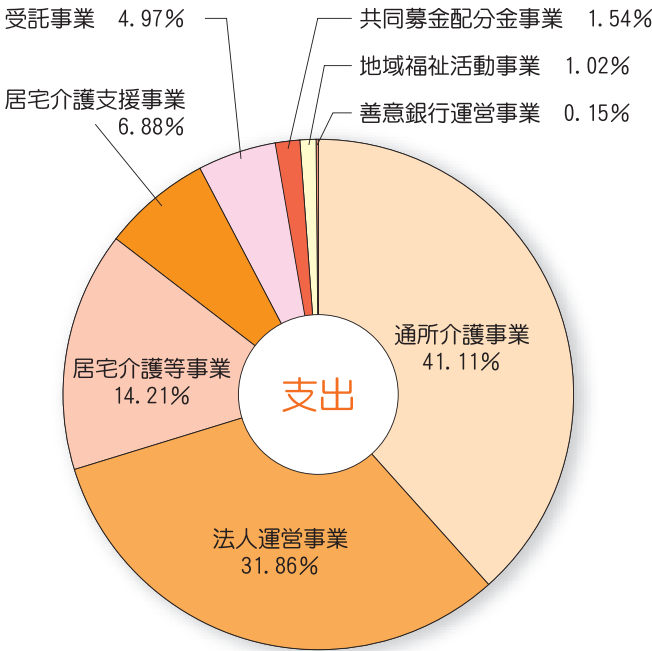
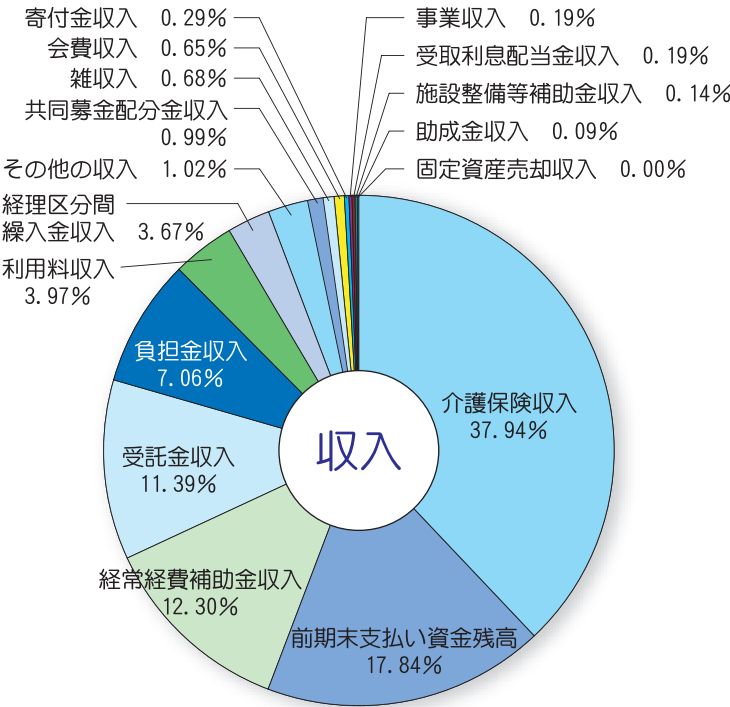
勘 定 科 目	金 額
会費収入	4,034,250
寄付金収入	1,788,115
経常経費補助金収入	76,211,000
助成金収入	577,750
受託金収入	70,577,750
事業収入	1,207,866
共同募金配分金収入	6,149,400
負担金収入	50,131,641
介護保険収入	235,140,031
利用料収入	24,601,440
雑収入	4,193,700
受取利息配当金収入	1,204,799
経理区分間繰入金収入	16,888,281
施設整備等補助金収入	850,000
固定資産売却収入	8,930
その他の収入	15,632,380
前期末支払い資金残高	110,533,120
収入合計	619,730,453

支 出

(単位：円)

経理区分（大）別	金 額	経理区分（中）別	金 額
法人運営事業	159,794,478	法人運営事業	155,463,478
		法人後見センター事業	2,540,000
		防災ボランティア事業	1,791,000
地域福祉活動事業	5,103,506	日赤社費事業	549,515
		地域福祉活動事業	3,027,780
		地域支援事業	274,728
		ボランティアセンター事業	1,251,483
受託事業	24,923,663	地域自立生活支援事業	15,190,000
		福祉サービス利用援助事業	5,967,663
		生活福祉資金貸し付け事業	2,621,000
		シルバー大学校管理運営事業	419,000
		地域生活支援事業	726,000
共同募金配分金事業	7,746,830	共同募金配分金事業	7,746,830
居宅介護等事業	76,225,634	居宅介護等事業	76,225,634
居宅介護支援事業	34,516,774	居宅介護（地域型）	600,000
		居宅介護支援事業	33,916,774
通所介護事業	192,487,324	通所介護事業（おちあい荘）	49,304,820
		通所介護事業（池月苑）	44,290,529
		通所介護事業（たがた）	49,756,072
		通所介護事業（つるぎの里）	36,728,903
		配食サービス事業	12,407,000
善意銀行運営事業	732,770	善意銀行運営事業	732,770
支出合計	501,530,979		501,530,979

当期末支払資金残高	118,199,474
-----------	-------------



会長あいさつ



会長 梶浦 豊子

会長就任にあたり、一言御挨拶申し上げます。

この度、役員の任期満了に伴う改選により、会長に再任いただきました梶浦豊子でございます。誠に微力ではございますが任期期間中、今、社協が取り組まなければならない諸問題に向けて皆様方の御協力をいただき、新体制の下、全力で進めてまいりたいと存じますので、よろしく御支援のほどお願いいたします。

さて、近年、少子・高齢化の進行や生活様式の変化に伴い地域社会や家庭の様相は大きく変容し、経済情勢や雇用環境の厳しさの長期化も相まって、自殺、ひきこもりなどの社会的孤立の問題、経済的困窮や権利擁護の問題、さらには、社会的問題となっている認知症対策など地域における生活課題は深刻化し、広がっています。

そうした中、社会保障等の諸制度の改革は、平成 12 年度の社会保障制度改革（介護保険の導入、措置から契約への転換等）に次いで、平成 27 年度スタートとなる「生活困窮者自立支援法」の本格施行や「介護保険制度」の予防給付・地域支援事業の再編成においては、地域の総合的な福祉力、いわゆる「地域力」が問われるものであり、地域福祉を形づける上で重要な時期にあります。また、一方では、社会福祉法人に対し、事業・財務諸表の公表が義務化され、税制上の優遇措置に見合う地域貢献の在り方についても議論されています。

地域福祉を推進する中核的な団体として「生活困窮者自立支援法」のモデル事業の受託をはじめ、多様なニーズに即した先駆的な事業を住民の方々や関係機関と連携協働し、包括的な支援ができる福祉社会の実現に向けて、組織の機能強化を進め役職員共どもに取り組んでまいります。今後とも、なお一層の御理解と御協力をお願いいたします。

理事・評議員選任のご報告

任期満了に伴う改選により、次の皆様が理事会・評議員会において選任されました。
(順不同、敬称略)

理 事 15 名 (任期：平成 26 年 8 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日)	
会 長 梶 浦 豊 子	森 本 健 照
副会長 栗 栖 昭 雄	黒 岩 和 宏
副会長兼 常務理事 田 邊 正 枝	小野寺 郊 恵
藤 原 英 雄	原 宗 一
光 山 利 幸	川 端 鴻 志
黒 岩 誠 治	三 宅 正 明
佐 藤 晃 一	森 廣 一
西 前 清 美	

監 事 2 名	
佐 藤 全 利	梶 野 実 茂

評議員 31 名 (任期：平成 26 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)	
緒 方 利 春	井 関 敏 秀
郷 司 千亜紀	澤 田 武 司
津 守 美 鈴	大久保 孝 雄
西 村 芳 哲	内 田 和 子
宮 本 守	河 野 正 八
武 田 春 夫	藤 本 善 子
水 野 浩 吉	石 川 幸 枝
地 造 津根子	中 島 みどり
松 田 宏	森 中 順 子
平 尾 詩 子	青 木 勝 彦
大 舘 敏	千 葉 正 樹
津 川 定	三 笠 徳 雄
長 田 竹 子	松 家 安 信
阿 部 照	南 邦 明
丸 石 勇	藤 本 眞喜子
	蔭 山 泰 章

百寿 おめでとうございます

社協ケアプランセンターをご利用いただいている梯元枝さんと社協ケアプランセンターと協町ヘルパーステーションをご利用いただいている日浦ツネ子さんの百寿のお祝いにご自宅を訪問しました。梶浦会長からの祝い状や記念品贈呈の後、御家族の方とともに和やかな時間を過ごしました。いつまでもお元気でいてください。百寿おめでとうございます。

梯元枝さん

プロフィール

- ☆生年月日
大正3年7月11日
- ☆自治会
庄
- ☆特技
和裁（今でもやっています）
- ☆今、一番楽しいこと
デイサービスで楽しく遊ぶこと



日浦ツネ子さん

プロフィール

- ☆生年月日
大正3年9月10日
- ☆自治会
妙見
- ☆今、一番楽しいこと
お花づくりをして、いろいろな方にもらっていただいたこと



敬老県民のつどい 表彰 おめでとうございます

高齢者自身が社会の一員として、その豊かな知識・経験を望ましい地域社会づくりに生かし、また、高齢者保健福祉の関係者が共に社会の進展に寄与してきたことを賞し、平成26年9月3日にあわぎんホールで、次の方々が表彰を受けられました。

高齢者福祉功労者等に対する県知事表彰

- | | |
|------------|-----------|
| 【高齢者福祉功労者】 | 【在宅介護功労者】 |
| 戎 忠 保さん | 逢 坂 喜代子さん |
| 奥 坂 能 久さん | 尾 形 純 子さん |
| | 小 松 明 弘さん |
| | 高 口 恵美子さん |
| | 仲 利 恵子さん |
| | 新 居 里 美さん |

老人クラブ活動推進功労者に対する県老連会長表彰

- 清 兼 美代子さん
篠 原 惟 文さん
長 江 廣 子さん
中 西 勉さん

米寿敬老記念品を贈呈される市町村別代表者

- 山 本 榮 吉さん

友愛訪問員に対する感謝状受賞

- 浦 辺 武 通さん
小野寺 タケコさん

全国老人クラブ連合会活動賞

- 美馬市老人クラブ連合会協町支部
荒 神 長 寿 会



社協会員会費納入のお願い

美馬市社協では、年間を通じて市民のみなさまに会員加入をお願いしています。会員加入とは、地域福祉推進に取り組む社協の運営や、サービスの参加・協力を財政面でお願いするものです。

社協会員になることによって、一人ひとりが「地域福祉」を自らの活動として受け止め、地域福祉活動に間接的に参加していただいているという意味ももっています。いわば、社協のサポーターとして、ともに「地域福祉」に取り組んでいく仲間であるともいえます。社協の活動をご理解いただき、ひとりでも多くの市民のみなさまの社協会員へのご協力をお願いします。

◇会員の区分 普通会员（会費一口 500 円）
 特別会員（会費一口 1,000 円）

全世帯のみなさまに普通会员として加入をお願いしています。その中で、特に社協の福祉事業推進に、ご賛同ご協力いただける方は、特別会員として、ご協力をお願いします。

◇会員募集推進期間 10月1日～10月31日

会員（会費）の募集は、毎年10月に福祉委員（自治会長）を通じて、全世帯をお願いしています。会員の募集は、年間を通して行っていますが、毎年10月を会員募集推進期間としています。

今年度の会費の使途

地域福祉活動事業費

社会福祉大会や地域福祉活動計画、自主防災組織活動助成事業等の福祉活動事業に使われます。



地域支援事業費

子育てをされている方たちの居場所づくり・仲間づくりが行えるよう、子育てサロン等による地域住民の支援に使われます。



ボランティアセンター事業費

地域住民のボランティア活動の援助や支援、美馬市民ふくしフェスティバル等に使われます。



皆さまからお寄せいただいた会費は、社協が実施する地域福祉活動事業の人件費を除いた事業経費として活用させていただきます。

社協会費 Q & A

皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

Q1 会員とは誰をいうのですか？

美馬市に居住されている本会の活動に賛同した個人、および法人をいいます。

社協の活動財源には、市、県社協からの補助金や委託金、会員の皆さまからの会費や寄付金、共同募金の助成金などがあります。

特に会員の皆さまからお預かりした会費を財源に、住民福祉活動の促進を図り、地域福祉を推進するということは、住民主体のふくしのまちづくりを掲げる社協にとって、大きな意味があるものです。会費は、皆さまに会員になっていただくことで、皆さま自身が地域の福祉を支えている主体であることの証と言えます。

Q2 会費の協力は強制ですか？

いいえ、決して強制ではありません。皆さまにご理解をいただけるように広報活動に努め、会費の使い道をご納得いただけるよう、役職員一丸となって地域の福祉課題を調査し、企画・実施いたします。

皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、今年度も何卒よろしくお願い申し上げます。

Q3 会費は何に使っているの？ 会員全員にメリットはあるの？

会費は地域住民の支えあいの精神に基づいています。会員の方全てがサービスを直接受けるものではなく、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる、ふくしのまちづくりの財源となるものです。会費の使い道は、地域の代表者、ボランティア団体、福祉団体等で構成される理事会、評議員会にて審議され、各種広報を通じて皆さまにお知らせいたします。

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金



共同募金運動は、戦後間もない昭和22年に国民たすけあい運動として始まり、「社会福祉法」に基づく民間の募金活動です。

全国統一のスローガン「じぶんの町を良くするしくみ」の下、今年度の10月1日から12月31日までの3ヶ月間、県下一斉に共同募金運動を行います。

共同募金会美馬市支部でも、募金活動を実施いたします。各家庭へお願いする「地域募金」や「学校職域募金」など様々な形でご協力を呼びかけています。お寄せ頂きました募金は県共同募金会を通じて、先駆的・開発的な事業として地域の様々な福祉活動やボランティア活動・地域福祉推進公募配分金助成事業などに活用させていただきます。

市民の皆様のあたたかい、ご協力をよろしくお願いします。

平成26年度目標額

- 赤い羽根共同募金 **4,331,500 円**
(26年度集まった金額の55%が翌年度配分されます)
- 歳末たすけあい募金 **4,000,000 円**

今年度の赤い羽根共同募金配分金・歳末たすけあい募金の使い道

赤い羽根共同募金

昨年、皆様方から集められた募金金額の**約55%、¥2,441,300 円**が本年度美馬市支部へ配分されました。



地域福祉推進公募配分金
(読み聞かせ支援活動)



美馬市社会福祉大会

地域福祉の充実のために…

- 美馬市社会福祉大会やみまっこフェスティバルの開催
- 地域福祉推進公募配分金事業の実施
- 高齢者や障がい者の方たちへの食事会やいきいきサロンなど地域福祉の支援



みまっこフェスティバル



地域福祉推進公募配分金
(精神障がい者と共に防災啓発)

歳末たすけあい募金

民生委員さんにご協力いただき、在宅ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、寝たきり高齢者の方々や市内の福祉団体や当事者団体へ配分させていただきます。

7月12日（土）、美馬福祉センターにおいて、
平成26年度西部ブロック災害救援合同模擬訓練 in 美馬市
を開催しました。

参加者：社協 111 名／県社協 16 名／行政 3 名／弁護士 2 名／ボランティア他 3 名／計 135 名

この訓練は、徳島県内を3ブロック（南部・東部・西部）にわけ、大規模災害が発生したときに広域的な連携及びお互いの顔が見える関係づくり、また災害ボランティアセンター運営マニュアルを検証し、設置運営ノウハウの蓄積や技能向上を図るとともに、災害時における他職種の連携や支援活動について共通理解を図ることを目的として開催しています。

今年度は、被災者の生活全般、介護予防、生活困窮等も含む事象の奥にある暮らしの視点に立った社協でなければならない支援を行うことを目的として開催しました。

午前は、官民協働、多機関協働、広域連携を取り入れた運営体制づく



午前－緊急連絡会議

りを心がけ、増大する地域課題、複合多問題の解決に貢献する事など、特定非営利活動法人さくらネット代表理事 石井布紀子氏により「災害時に市町村社協が行う10のこと」と題し、御講義いただきました。その後各社協役員・管理職を中心に最初の方角性を示す重要な緊急連絡会議を行い、混乱した中でいかに情報を集め、分析し、組織としての意思決定、全職員へ伝える情報共有の仕方、どのタイミングで何を判断するのかなど、それぞれの社協で白熱した会議が行われました。



講師：特定非営利活動法人さくらネット
代表理事 石井布紀子氏（写真左）
前橋市社会福祉協議会ボランティアセンター
主 任 高山 弘毅氏（写真右）



昼休みを利用して身近にあるモノを利用しランプを作成。



TLG（手作りランプグランプリ）を行いました！



避難所が猛暑の時に避難した方々へ元気を与えた実績のある「かき氷」を皆で体験しました！

午後は、災害を切り口に心の奥に隠された複合多問題の困難事例を元に職種別に検討を行いました。それぞれの立場からの対応を共有することで、社協の専門性だけで対応する事の難しさ、既存のものだけにつなぐのではなく、ニーズに応じて形を作り上げること、周辺資源に日ごろから関わること、また、本人だけに焦点を当てすぎず地域の実情、地域の支え合いはどうなっているのかを視野に入れる事によって対応が深まることなど、改めてこの訓練を通じて日常的な社協間ネットワークの強化、総合相談支援力の強化に伴う多職種・多機関の連携の重要性について共通理解を図ることができた訓練となりました。



TLG優勝は東みよし町社協さんでした！



午後－職種別困難事例検討

～県内社協災害時の支え合い活動～

平成 26 年 8 月の台風 11 号と 12 号の影響による激しい雨のため、徳島県では冠水や土砂災害が発生し、多数の家屋が床上浸水するなどの深刻な被害が生じました。それに伴い、8 月 4 日（月）より阿南市、海陽町、両社会福祉協議会、8 月 13 日（水）より那賀町社会福祉協議会にて被災者支援に向けた災害ボランティアセンターが設置されました。

美馬市社会福祉協議会は、8 月 7 日（木）海陽町被災者支援ボランティアセンターへ 2 名、8 月 12 日（火）13 日（水）14 日（木）阿南市災害ボランティアセンターへ各 2 名ずつ運営支援へ行きました。



県内社協職員スタッフ会議中

美馬市社協自主防災訓練助成金交付事業 をご利用ください。

皆さまから納入いただいております社協会員会費を活用させていただき、防災訓練実施時の助成金として配分させていただく事業を実施しております。

お互いがコミュニケーションを図り、いざというときに役立つ防災に関するマップの見直しをとおり、情報の共有化を図ったり、災害時要援護者に対する支援の検討や、災害をシュミレーションする機会として各種訓練を継続的に実施していただくために活動の支援をさせていただきます。

申請書等については、自主防災会会長にご案内させていただきます。

■対象期間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

■配分時期 平成 26 年 11 月以降

【問い合わせ先】 地域福祉課 TEL 53 - 7432

善意銀行からのお知らせ

善意銀行は、個人及び団体から善意に基づく預託を受け、これを効果的に社会福祉に活用できるよう取り次ぎ、地域福祉の増進に資することを目的に現金・物品・資産・労力等の口座を設け、預託・払出を行っています。

◎平成 25 年度は次の善意が寄せられました。ありがとうございました。

現金口座	☆一般寄附金	11 件	1,088,115 円
	☆香典返し寄附金	11 件	700,000 円
物品口座	☆車椅子等	3 件	

◎平成 25 年度は次のとおり払い出しを行いました。

払い出し金	○火災見舞い	3 件	60,000 円
	○助成金	11 件	350,000 円
払い出し物品	○車椅子等	3 件	

※助成金につきましては、香典返しの寄附金をいただきました方の自治会へ、寄附金の半額を交付しております。

美馬市生活支援相談センター 暮らしサポートみま 開所!!

美馬市より厚生労働省生活困窮者自立促進支援モデル事業を受託し、「美馬市生活支援相談センター暮らしサポートみま」を開所しました。

センターでは、美馬市にお住まいで、「暮らし」や「仕事」、「家計」、「引きこもり」のことなどでお困りの方の相談を受け付けています。相談に来られた方の悩みに寄り添い、困りごとや課題を整理し、解決に向けて一緒に計画を立て、継続した支援を行います。

秘密厳守で相談を受けさせていただきますので、お気軽にご連絡ください。また、皆さんのまわりで困っている方やご心配な方がいましたら、当センターへご連絡、ご紹介ください。

センターの場所、開設時間等については、次のとおりです。

- 場 所 美馬市脇町大字脇町 1 3 0 3 番地 3 (美馬市脇町庁舎美馬市社会福祉協議会内)
- 電 話 **0120-760-783** (携帯、PHS からはご利用できません)
0883-53-7830 (なやみゼロ)
- 曜 日 月曜日から金曜日 (祝日を除く)
- 時 間 午前 9 時から午後 4 時
- 地区相談

美馬

美馬福祉センター

毎週火曜・金曜
午前 9 時 30 分～11 時 30 分

穴吹

初草ふれあい館

毎週月曜・木曜
午後 2 時～4 時

脇町

脇町庁舎

(美馬市社会福祉協議会)
毎週月曜・木曜
午前 9 時 30 分～11 時 30 分
但し、職員は常駐していますので
いつでもお越しください。

木屋平

木屋平総合支所

毎週水曜
午前 10 時～正午
(但し、第 2 水曜日は
つるぎの里と 2 箇所で開催)

ふれあい福祉総合相談 (開催場所：美馬市社会福祉協議会)

◎総合相談 (※開催場所については、暮らしサポートみま 地区相談と同じ)

◎弁護士相談 (要予約)

<離婚、借金、相続、不動産、犯罪被害など>
第 3 水曜日
午後 1 時～午後 4 時

◎司法書士相談 (要予約)

<裁判所や検察庁に提出する書類・
不動産の登記手続き等について>
第 1 水曜日 午後 1 時～午後 4 時

◎土地家屋調査士相談 (要予約)

<不動産の表示に関する登記に必要な手続きや
土地の境界に関すること>
第 2 水曜日 午後 1 時～午後 4 時

◎結婚相談

<結婚についての相談>
第 3 木曜日
午前 9 時 30 分～正午

※相談は必ず問合せをしてください

【問い合わせ先】地域福祉支援課 ☎52-0519

第10回美馬市 社会福祉大会のご案内

- 日 時：平成26年11月21日（金）
9時30分～12時15分
- 場 所：うだつアリーナ
- 内 容：表彰状・感謝状の贈呈
ダイヤモンド婚・金婚祝状の贈呈
記念講演
- 【問い合わせ先】総務課 TEL 53-7432

第10回美馬市民♡ふくしフェスティバル

美馬市内のボランティアと各種団体が一体となり、交流の場・学習の場・発見の場となることを目的とし、第10回美馬市民♡ふくしフェスティバルを開催します。たくさんの方のご来場をお待ちしております。

ボランティア
募集しています!!



- 日時：平成26年12月7日（日）10：00～
- 場所：うだつアリーナ
- 内容：体験コーナー、展示物、食の広場、フリーマーケット、みまっこコーナー、防災コーナーなど
- 【問い合わせ先】
第10回美馬市民♡ふくしフェスティバル実行委員会 TEL53-7432

体操教室のお知らせ

運動がよいのはわかっているが、なかなか一人では出来ませんよね。一緒に、無理なく、楽しく体操をはじめませんか？

（パルシー改築のため、開催場所が変更になります）

健康体操教室 10月9日（木） 10:30～11:30 脇町老人福祉センター（1階）

3 B 体操 10月24日（金） 13:30～14:30 脇町老人福祉センター（1階）

◇参加費：無料 ◆事前の申し込みは必要ありません。

【問い合わせ先】地域福祉課 TEL53-7432

秋の旬～レシピ～ きのこと

きのこは、低カロリーで食物繊維が豊富に含まれています。また、カルシウムの吸収を助ける働きもあるビタミンDが含まれていますので、ダイエットや骨粗しょう症予防の強い味方です。

きのこのマリネサラダ（調理時間30分程度）



<カロリー:135kcal、塩分:2.3g *1人分換算>

- 材料 4人分
- ・しめじ…1袋
 - ・えのきたけ…1株
 - ・エリンギ…1本
 - ・ベビーリーフミックス…1袋
 - ・ミニトマト…4個
 - ・マリネ液
（オリーブ油…大さじ4
ワインピネガー（白）…大さじ2
ハーブソルト…大さじ1
塩…適量
こしょう…少々

《作り方》

1. しめじは小房に分けます。えのきたけは根本を切り落とし、半分に切ってほぐします。エリンギは食べやすい大きさに切ります。
2. 耐熱容器に、（1）を入れてラップをして電子レンジ（500w）で3分加熱し、熱いうちにマリネ液を加えて混ぜ合わせ、そのまま冷まします。粗熱が取れたら冷蔵庫で冷たくなるまで冷やします。
3. ミニトマトはヘタをとって半分に切ります。ベビーリーフミックスは、洗って水気を切っておきます。
4. 器にベビーリーフを敷き、（2）をのせてマリネ液と共に、ミニトマトを添えます。



◎編集後記

今年の8月と9月前半は、雨雨雨でした。貴重な晴れ間に外に飛び出し、表紙の写真を撮影しました。この社協広報誌（ふくしの木）が皆様のところに届くころには、秋の長雨ではなく、秋晴れの行楽の秋となっていますように。もっとも、ダイエットの私は、食欲の秋とたたかいますが、（´_`）トホホ・・・。

（社協だより編集委員）